



認定看護師

自分のからだを知ることから

糖尿病看護認定看護師 平松 一葉

現在、国民の4人に1人が糖尿病またはその予備群で、そのうち4割が未治療とされています。また、健康診断で血糖値の異常が見つかった人は、「異常なし」の人に比べて10年後の医療費が約1.7倍かかることがわかっています。糖尿病は自覚症状が無く、症状を感じる頃には合併症を発生している事が少なくありません。定期的に自分のからだの状態を知る健康診断を受けて、ご自身のからだの

状態を知り、異常があれば早い段階で医療機関に受診して頂く事をお勧めします。また、現在糖尿病で治療をされている方で血糖コントロールがつかないと悩んでいる方もいらっしゃると思います。日々の生活の中で一つでも改善できる点を見つけるお手伝いをさせて頂く事が私達の仕事です。生活改善の為に何をしたら良いのか悩んでいる方、いつでも相談をお待ちしています。

がんの痛みは対応できる症状です。 痛みは我慢せずにご相談ください。

がん性疼痛看護認定看護師 小牧 千晴

がんになると痛みで苦しむというイメージの方が多いと思います。そして、がんの痛みは対応できる症状ということを知らない方もいます。

がんによる痛みは、診断時に約30%の方にあると言われ、進行すると約70%の方が痛みを経験すると言われています。また、体の痛みだけではなく、がんと知らされることは、衝撃的なできごとであり、今後の治療やこれ

からの生活のことなど不安でいっぱいになってしまう方もいらっしゃると思います。

がんの痛みは早期介入で軽減できると言われています。今現在、痛みを我慢していたり、日常生活に困っていることや心配なことがあればいつでもご相談ください。痛みを抑え、あなたらしく過ごすためにお手伝いさせていただきます。

患者さんとともに…

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 高谷 貴子

脳卒中には、脳梗塞、脳出血があります。脳卒中を起こすと手足の運動麻痺や意識障害、うまく話せないなどの症状が出て後遺症となることが多く、その後の人生を一変させてしまいます。脳卒中は、要介護の原因の第1位となっており、早期受診や治療、機能回復のためのリハビリを受けることが重要となります。そのため、手足の動きにくさやしゃべりづらさを感じたら、夜間でもすぐに受診され

ることをお勧めします。

私は、6西病棟で医師と連携を図りながら、脳卒中の急性期の方の状態を評価・判断し、入院時から退院後の生活を見据え、その人らしい社会生活が送れるように支援しています。障害を持ちながらも新たな一歩をともに踏み出し、一人でも多くの患者さんの笑顔が見られるように頑張っていきたいと思います。